

## 2. 火山の概況

(平成16年5月6日～平成16年5月12日)

浅間山では地震がやや多い状態が続いた。火山活動度レベル（以下レベルと記載）は2。

三宅島では噴煙活動が継続した。

阿蘇山では熱的な活動が引き続き活発で、小規模な土砂噴出が継続した。レベルは2。

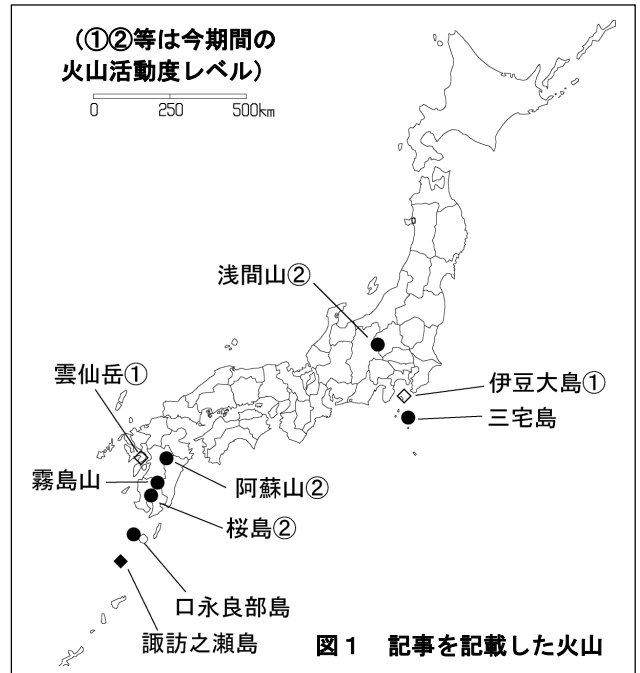


図1 記事を記載した火山

表1 最近1か月に記事を記載した火山

号	対象期間	浅間山		伊豆大島		阿蘇山		雲仙岳		桜島		十勝岳	伊豆東部火山群	三宅島	福徳岡ノ場	霧島山	薩摩硫黄島	口永良部島	諏訪之瀬島
		レベル	記号	レベル	記号	レベル	記号	レベル	記号	レベル	記号								
20	5/6-5/12	②	●	①	◇	②	●	①	◇	②	●			●		●		●	◆
19	4/29-5/5	②	●	①	◇	②	●	①	◇	②	▲		●	●	●	●	▲	●	▲
18	4/22-4/28	②	●	①	◇	②	●	①	◇	②	▲	◆	●	●		●		●	▲
17	4/15-4/21	②	●	①	◇	②	●	①	◇	②	▲	▲		●		●	▲	●	
16	4/8-4/14	②	●	①	◇	②	●	①	◇	②	◇	●		●		●	●	●	

### 注1 記号の意味

- ▲：噴火した火山
- ：観測データ等に变化があった火山
- ◆：前期間まで▲や●で掲載した火山の、その後の状況等
- ◇：その他記事を掲載した火山
- ①②等の丸付き数字：火山活動度レベル

注2 本文の火山名の後ろの[噴煙・噴気・地震・微動・空振・地殻変動・熱・火山ガス等]は、变化があった観測データ項目を示す。

### ● 浅間山 [地震・微動・熱・火山ガス] レベル2 (やや活発な火山活動) <期間外の記述を含む>

昨年6月末頃からやや多く観測されるようになってきている振幅の小さい地震は、今期間も1日あたり16～76回とやや多い状態が継続した。また、振幅の小さい微動が1回観測された(前期間は5回)。

赤外線カメラ(群馬県林務部が火口縁に設置)では、引き続き火口底に高温部が確認された。

13日(期間外)に行った上空からの火山ガス観測<sup>1)</sup>によると二酸化硫黄の放出量は日量250トンであった。これは、前回(2003年12月8日)地上から観測した際の日量250トンと同程度であった。

1) 陸上自衛隊の協力による

### ◇ 伊豆大島 レベル1 (静穏な火山活動)

地震活動、噴煙活動、地殻変動等の観測データには特段の変化はなかった。

### ● 三宅島 [噴煙]

白色噴煙が山頂火口から連続的に噴出しており、期間中の高さの最高は火口縁上700mであった。

振幅の小さいやや低周波地震は、1日あたり6～56回と少ない状態で推移した。

GPSによる地殻変動観測では、昨年6月頃から始まった三宅島の収縮傾向が継続している。

● **阿蘇山 [熱・土砂噴出・微動] レベル2 (やや活発な火山活動)**

中岳第一火口では熱的な活動が引き続き活発で、小規模な土砂噴出が継続した。

7日に阿蘇山測候所が行った現地観測によると、中岳第一火口の状況は、湯だまりの色は灰色、湯量は約3割(前期間も約3割)で、湯だまりの表面温度の最高は78℃(前期間81℃)、火口壁の最高温度は429℃(前期間446℃)と依然高温状態にあった。湯だまり中央部で約5mの土砂噴出が観測されたほか、湯だまり南西縁の噴気孔から勢いよく噴気を噴出し、噴気音の大きさは、火口縁で誰にでも聞こえる程度であった。

期間中、連続微動を観測した。また、孤立型微動は今期間486回発生し、前期間(819回)に比べ減少したものの依然としてやや多い状態が継続している。

噴煙は白色で、噴煙の高さの最高は火口縁上400m(前期間300m)であった。

地殻変動等その他の観測データには特段の変化はなかった。

◇ **雲仙岳 レベル1 (静穏な火山活動)**

地震活動、噴煙活動とも静穏であった。その他の観測データにも特段の変化はなかった。

● **霧島山 [噴気]**

6日及び11日に御鉢で火口縁を越える噴気が遠望カメラで観測され、その最高は火口縁上500mであった。

● **桜島 [噴煙] レベル2 (比較的静穏な噴火活動)**

期間中噴火はなかったが(前期間は爆発的噴火が1回)、6日及び11日に、桜島で噴火と計数している規模の噴煙活動には至らないものの、火山灰を含む有色噴煙(灰白色)を間欠的に上げた。有色噴煙の高さの最高は火口上600mであった。

鹿児島地方気象台(南岳の西南西約11km)では、昨年11月19日を最後に降灰は観測されていない。

● **口永良部島 [地震・微動]**

地震の発生は、2月2日に多発して以降増減を繰り返しており、期間中の合計は68回であった(前期間は31回)。また、火山性微動が1回発生した(前期間も1回)。

◆ **諏訪之瀬島**

5月3日以降、噴火は観測されていない。火山性微動の発生は18回と、前期間(221回)から大幅に減少し、連続微動の発生はなかった。

表2 火山情報発表状況

火山名	情報の種類及び号数	発表日時	概要
三宅島	火山観測情報第250号 ↓(1日2回発表) 火山観測情報第263号	6日09:30 ↓ 12日16:30	活動経過ほか(噴煙・地震・微動・空振・火山ガス・地殻変動の状況、上空からの観測結果、及び上空の風・火山ガスの移動予想)。
阿蘇山	火山観測情報第27号	7日15:00	火山活動は引き続きやや活発(孤立型微動やや減少、連続微動発生、小規模な土砂噴出多数発生、湯だまりの高温状態継続)。レベルは2。
霧島山	火山観測情報第22号	7日15:15	御鉢の噴気活動は消長を繰り返している。
諏訪之瀬島	火山観測情報第3号	6日11:00	活発な火山活動が収まる。